



発行所 アシュラムセンター  
523-0894 近江八幡市中村町 567-2  
Tel 0748-33-4030  
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ  
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772  
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

ロシアのウクライナ侵攻が始まって、はや9ヶ月が過ぎようとしている。冬の始まりを前にする今も、休戦や停戦に向けての話し合いがなされる気配はなく、むしろロシアからは夥しい数のミサイルが打ち込まれ、ウクライナもまた徹底抗戦を叫ぶ。平和は、一体どこへいつてしまったのか。もはや、このような世界情勢の中で、平和を望むなどといっても、それはただ虚しい言葉として、片付けられてしまふ他ないのだろうか。預言者イザヤは、厳しい審判の預言者であるとともに、究極の平和を見据える救済の預言者であった。彼は、その召命の後すぐ、神の言葉を聞く。

「町々が崩れ去って、住む者もなく、家々には人影もなく、大地が荒廃して崩れ去る」(イザヤ6:11)と。彼は王国の恐ろしい崩壊を「その時がくれば」という象徴的な言葉を持って繰り返す。しかし同時に、「それでも切り株が残」(6:13)り、「エッサイの根からひとつの若枝が育つ」(11:1)と、「インマヌエル」の誕生を預言するのだ。以来、私たちは、この預言の言葉の実現する時を待ち続けている。

瞑想

狼は子羊と共に宿り、豹は子山羊と共に伏す。子牛と若獅子は共に草を食み、小さな子どもがそれを導く。

「狼は子羊と共に宿り、豹は子山羊と共に伏す。子牛と若獅子は共に草を食み、小さな子どもがそれを導く」(11:6) その時を。確かに、この預言の言葉を嘲笑う者もいるだろう。今に至るまでの人類の歴史は、絶え間ない戦争の繰り返しであり、東の間の平和もまた、勝者が敗者を支配する弱肉強食の世界にしかすぎない。軍事費が増強され、軍事演習は激化する。この厳しい世界情勢の中で、非武装中立などという言葉は、頭の中がお花畑の、平和ボケした人のうわ言と一笑に付せられてしまう。今や、クリスマスは、平和の主、インマヌエルの誕生のお祝いだ、と歌う私たちの言葉も虚しく響いてし

主幹牧師 榎本 恵  
イザヤ11:6

まうのだろうか。しかし、それでもなお、私は、このイザヤの預言を信じる者でありたい。「いつの日か、ジョージア州の赤土の丘で、かつての奴隷の息子たちとかつての奴隷所有者の息子たちが、兄弟としてテーブルに着く」という夢を語った、

キング牧師と共に、そして沖繩の巨大な基地建設現場の前で、その阻止を「勝つ方法はあきらめないこと」と非暴力で闘う辺野古テント村の人々と共に。あなたは『あらしのよるに』という絵本を読んだことがあるだろうか。嵐の夜に偶然出会ったヤギのメイとオオカミのガブ。しかし、記憶を失ってしまったガブにとって、再び出会ったヤギのメイは獲物にしか見えない。その時、メイが叫ぶ「ああ、こんなことになるんだったら、あの、あらしのよるに、出会わなければよかった」と。その声に、ガブは再び記憶を呼び戻す。そして2匹は丘の上に並び、一緒に満月を見るのだ。友よ、今年の最後に、この絵本のエンディングの言葉を贈ろう。「月の中にうつつたそのかげは、もう、ヤギでもオオカミでもなく、ただふたつの生きもののすがただった」。

第46回

新潟一泊アシラムの恵み

小林 宮子

第46回新潟一泊アシラムが、10月17、18日、3年ぶりに榎本恵先生を講師にお迎えして祝福の内に終える事が出来ました。

計画はしたものの、コロナ禍の中で果たして実行できるのか、神様の助けをひたすら祈らされたアシラムでした。



何しろ今まで利用していた公共施設が次々と閉鎖され、初めて利用する民間の小さなホテルで、しかも全館貸切。提示された最低参加人数をクリア出来なかつたらどうしようと思いが付き纏いました。

しかし、神様の御業は見事な程、ピツタリ。その上、一日参加の方も与えられ、旅行支援のおまけ付きの恵みまで頂くことができました。

聖書の静聴箇所は黙示録。普段から馴染みの薄い、どちらかと言うと避けて通りたい箇所でした。

先生からは「分からない自分こそ、焦点を当てて見ると良い。」とのアドバイスをいただいて聖書を開

きました。

私の住む所は、遠くに山並みを望むこと出来る、360度展望が開けている田園地帯です。時折車を走らせながら、この美しい青空が巻物の様に巻き取られる時が来るのかと、胸が締め付けられる時があります。

しかし、アシラムを通して聖書のみことばに聴く時、全てを超えて働かれる神の御手の内に、今、確かに私は置かれ、生かされている。終わりの時が、イエス・キリストの再臨の時、完成の時であるなら、いたずらに恐れるのではなく、最善をなされる主に信頼して、普段通り、祈りつつ賛美しつつ、歩んでいこうとの思いが与えられました。

多くの祈りの友が与えられ、毎日ファミリィの誰かの為に祈り、又私自身も祈られ

ている。主にある平安が満ち満ちて行きました。霊も肉も満たされて、主の備えてくださった恵みに感謝し、再会を約束し、其々の場へと戻って行きました。

来年は新潟で、国際

正義平和アシラムが予定されているそうです。全ての必要を満たして下さる主に期待して、今から祝福を祈らせていただいています。

(新発田キリスト教会 Zom聖書教室の友)

加太アシラムの証

引原 勝美

あなただけが人の知恵によってではなく、神の力によって信じるようになるためでした。

Iコリント2:5

(1~5)

第47回加太アシラム、45年振りに参加しました。コロナで中止の中、開かれることを聞き申し込みました。初めてアシラムを体験した思い出の場所です。

人生に疲れ、生きる気力も失い、信仰にもつまずいていた時です。牧師婦人共に手を焼き困らせて、お手上げ状態。

そのような時、榎本保郎先生が6月、和歌山の加太でアシラムを開催されるところで、(アシラムに連れて行かなあかん)と、引つ張られ参加させられたのです。

この時、保郎先生は命をかけて集会を開いておられたのです。

その後、アメリカ伝道旅行に出かけられるのですが、飛行機の中で吐血され帰らぬ人となりました。

私にとって最後のメッセージを、早天祈禱会の時、語られました。

私は多くの人がいる中、心碎かれ悔い改めさせられたのです。

帰らぬ先生の代わりに、生きる者とされ、今日に至りました。

その後、紆余曲折があります。アシラムに連ならせて頂いています。

ややもすると、信仰を自分の知恵や力で高めて行こうとしがちですが、そうではない。聖書は「神の力による信仰」が大切と、説きます。人の知恵ではなく、神の知恵を求めて行きたいものです。

保郎先生が、「集める集会ではなく集



まる集会」と言われました。その為には、アシラムに生かされた者と変えられて行かなくてはと思われされました。信仰は生涯学習です。神の力が働けるように、謙虚な者に変えられて生きたいものです。(日基世光教会・早天祈禱会の友・常任運営委員)

# 体も心もホツカホカ

土屋 聡

今年も日光オリーブの里アシラムに参加しました。

終わってみて驚いたことは、温泉のお陰だけではなく、体の内からもホカホカするものを感じたからです。アシラムに参加している内に、心は開放され、固くなっていた心が動き出している！と気がついたのです。

アシラムには教師となる人がおらず、恵みの時に話した言葉は指導・助言や批判される心配がありません。分からないうちはイエス様に祈り、示されるのを待つようにします。

そのような主イエスを中心とした仲間との恵みの時は、正直なありのままの自分でいて

も安全で安心です。

私は心の守りをほどこき、正直な自分をさらけ出せていたのを感じます。

アシラムでは、イエスを信じる仲間と共にかで、裸の心と裸の心での出会いが生まれ、信頼が深まっていくのを感じました。

信仰の仲間との出会いは、心が開放され自由となり、知らぬうちに内側からエネルギーが湧いて、体が温かくなるのを感じたのです。まさに、アシラムは心の温泉だなぁと思いました。

私は、日光オリーブの里アシラムに参加して、信仰の仲間との出会いと温泉で心身共にリフレッシュ



讃美と証の時。土屋兄のオカリナと横山兄(ご夫妻で初のご参加)のギター演奏、心ホカホカに。

シユし、心も体も元気を与えていただいたことに感謝しています。(無教会 千葉集会)



〈修道場アシラム感謝のお便りより〉 主の千年のようない日一日を過ごして、一挙に「現実」に帰って参りました。

# 第46回山陰アシラムの恵み

遠藤 誠一

が担当しました。

10月3日(月)から2日間、岡山県蒜山高原にある蒜山バイブルキャンプを会場に12名の方々と共に、み言葉と祈りにたつぷりつかう、幸せなひとときを過ごしました。

場所は西の清里高原と言われているすばらしいところ。この大自然の中で過ごす時間は贅沢で、あつという間に過ぎてしまいました。

今年「愛はすべてを完全に結ぶ帯である」をテーマに、講師は参加者の3人の牧師

高齢者の方々に配慮したプログラムは、自由時間をたつぷりとつたゆとりのあるもので、近くの公園を散歩したり、温泉にゆっくり入る人もあり、身も心も癒される時でもありました。

この山陰アシラム開催にあたっては、実行委員会の7名が毎月集まり、祈りと準備をもって備えたので、聖霊の息吹を感じました。

ファミリーは4人の少数のために、一人ひとりがじっくり話し、

メンバーがじっくり聴くことができました。今回のアシラムでは、ピリピ人への手紙をじっくり静聴することをとおして「私たちの国籍は天国である」ことを、強く教えられ、やがて肉体の生活は終わります。しかし、その後には第2の人生があります。それは天国の生活です。そこは、霊的なところで、この肉体の生活よりも、何千倍、何万倍どころではなく、何億倍という素晴らしいところに行くのです。ですから、私たちは天国への希望を持って生きていくことができます。そのため、今肉体のある間に、私の霊が成長したいと思えます。肉体は土から造られたので、土から出来た野菜や果物、穀物などで成長しますが、霊は神様が霊の息を吹きかけて与えられたの

→ダスキンの方々と、シメオン黙想の家掃除に奉仕。市橋姉、築山姉。楽しく心こめて…



↑秋の良き日、塩路様方、アンナ、シメオン掃除ご指導に。(恵師家族の応援団)

で、神からの食べ物が必要。それがみことばです。「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つのみことばで生きるものである」とイエスさんが言われているとお



↑10・11月センター聖書教室、修道場、第44回阪神アシラム参加者共に。詩編142篇。恵師が、主幹牧師に就任してから15年、詩編を一篇ずつ積み重ねてきました！



りです。今回のアシラムを通して、この恵みを確認しました。来年も、10月2日(月)から同じ場所です。2日間行われます。今から楽しみに、備えたいと思います。(山陰アシラム代表)

アシラムと皆様の為に祈らせて頂きます。恵師のご健康を…和子母上にくれぐれもよろしくお伝え下さい。

小林錦(札幌)

〈小林佳子姉より 和子母へ〉 夫の思い隔ずみまでも知る妻の日々の祈りはいつしか子らに

小林佳子姉(2022年3月26日ご召天)の歌集「であい」第三集発刊に寄せて。

榎本 恵



「主の御愛(ごあい)

さえぎるものの無き洞沼湖(ひぬまこ)に朝陽輝き祝福満てり」

昨年秋、お二人をお訪ねした折、そのお部屋にある小さな文机を見つけて置かれたその机を見ながら、ここできつと創作されているのだろうなと思ひ、ふと窓の外に目をやりました。「おや、ここからは雑木に遮られて、あの美しい洞沼湖(ひぬまこ)は見えないのだが。」

だと。

それは時間も、空間も超えています。

ある時は、かつてその設立に奔走していた障害者施設や老人ホームに、遠く離れたアフガニスタンの「ナカムラちゃん」に、ミネソタの大草原の「ジューディちゃん」に。

またある時は、戦時中の暗黒時代の日本に、そして東日本大震災後の原発事故の福島に、佳子姉の心の目は自由自在にあらゆるものを見つめています。

けれども、その時気づいたのです。「そうか、佳子さんの目には、全てが見えているのだ」と。遮るものなど何もない、心の目は全てが映っていたの

ものを見ている姉の生きた記録なのでしょ。さて、「歳ゆえに運転止(よ)せの大波よ差別にあらずや生活権の」と歌っておられた姉の最後のお歌は、「水戸で取り水戸にて返す免許証よくぞ走りき日本列島」でした。不自由なお身体で、しかし車を駆り、日本中を動いてこられた佳子姉。今、その車の免許は返されたけれども、「キリストはわたしたちを自由の身にしてくださった」(ガラテヤ5:1)、その神からの運転免許は永遠にあるのです。どう

か、その免許を携え、これからも時空を超え運転してください。それはもう誰も止めることはできませんから。

\*\*\*\*\*

ご長女、恭子姉より、歌集寄贈されました。「お用いくださいと母も喜びます」と。お読みになりたい方、ご一報下さい。



↑みんなのカフェいちろば聖書入門講座。このカフェの働きをみんなで支えたいきましょう！分かち合いのされ...



御夫妻で各地アシラムにご参加。(国際正義・平和アシラムin神戸2018年)



庭の花と和子母(photo Kota) 97才、少々しんどいようです。花は、色あいが元氣！皆様、お祈り下さい。

あとがき

2022年のクリスマス。この年を振り返ると、戦争、コロナ、首相の暗殺、統一教会と、なんとも暗いニュースばかりだったように思う。今、私たちにとって必要なのは主にある希望なのだ。

新しい年を迎えるにあたり、そんな思いでいっぱいだ。アシラムセンターも、福岡から樋口栄子さん家族が引越してこられる。祈りの共同体を実現していくことが、私たちに課せられた主からの使命なのだ。

2月には台湾、ブラジルへ宣教に向かう。また、夏にはセンターに新しい動きも予定されている。暗い長い道ではあるが、希望を見失わず、共に歩いて行こう！ヤコブの家よ、主の光の中を歩もうよ。

イザヤ2:5(恵)



〈誕生日カード感謝のお便りより〉 小生の誕生日(96才)を御覚えて下さって感謝いたします。夫妻共に誕生日を迎え、主の聖名を讃美いたしております。クイエスは主であるを共に

横山義孝師(東京・クリスチャンアシラム連盟委員長)

中止、又はオンラインに変更もあり。  
ホームページ、電話等でご確認下さい。  
直前の変更の場合あり！

12月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】  
0748-33-4030  
アシュラムセンター

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 6(火)   | Zoom聖書教室 (AM10:30、PM7:30)           |
| 10(土)  | 加古川祈りの家 (小林清子姉宅 PM1:00)             |
| 10(土)  | 聖書と学ぶ会 (ZOOM PM8:00)                |
| 12(月)  | 福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)         |
| 18(日)  | ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝 (PM5:00)            |
| 19(月)  | 箴言に学ぶ会 (ZOOM AM10:30、PM7:30)        |
| 20(火)  | 大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)       |
| 26(月)  | 静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30) |
| 27(火)  | 東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)  |
| 28(水)  | 美しい足の会 (Zoom AM10:30、PM7:30)        |
| 1/6(金) | 阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)           |

12月のアシュラムなど

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| 1(休)<br>2(金) | <b>リトリートアシュラム</b>   |  |
|              | 1(木) スコット・マーレー司祭 (マインド・フルネス)<br>2(金) 12:00～ みんなのカフェちいろば<br>大山シェフによるクリスマスランチ<br>14:00～ 合同平和祈禱会 上内鏡子師 |   |

2023年1月以降のアシュラム予定

|  |  |
|--|--|
| <b>第48回 年頭アシュラム</b>  |  |
| 主題：エル・ロイ (私を顧みられる神) 創 16 : 13<br>会場：琵琶湖コンファレンスセンター<br>奉仕者 榎本 恵師 (アシュラムセンター主幹牧師)<br>齋藤 篤師 (日基仙台宮城野教会牧師・<br>アシュラムセンター常任運営委員) |  |
| 1/19(木)<br>21(土)   |  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">ご参加お待ちしております！</div> |
| 2月13(月)～15(水)  | 台湾愛修会  |
| 2月19(日)～21(火)  | ブラジルアシュラム  |

12月号より  
アシュラム誌配送作業は  
アシュラムセンターで！

皆様、お励ましの言葉、アンケートご返送、感謝致します。未届け他、何かございましたら、お手数ですがご連絡下さい。

ヤマト運輸(株)岐阜支店様  
長い間ありがとうございます。



事務局  
榎本 光太



シメオンの池に、金魚達がのびのびと！常任の青木兄より。時々エサやりご奉仕も！

みことば

ノースカロライナ大学院生  
Zoom聖書と学ぶ会  
榎本 空

言っておくが、いつか、東や西から大勢の人が来て、天の国でアブラハム、イサク、ヤコブと共に宴会の席に着く。

マタイ 8 : 11

沖縄に来てから、夕飯作りは完全に私の仕事になった。だいたい4時ごろになると、パソコンの前で文章など書いていても、頭の半分は夕飯のことを考える。昨日は麺だったから、今日はご飯にしようとか。冷蔵庫のキノコはそろそろ使ったほうが良さそうとか。米が切れそうとか。そんなことばかり考えている。

もともと、大抵は自分の食べたいものを作るのだから気楽なものである。娘たちの健康は大丈夫だろうか。そういう点で言えば、私は子どもの頃、随分と健康にいい食事を食べさせてもらった。野菜中心、自然志向のメニューのなかで、私が好きだったメニューの一つにミートボールがあるが、それすらも野菜でできていたことを最近知った。それならミートボールと呼ばないで欲しいのだが、衝撃の事実だった。

とは言えそのおかげで、今の健康があるのだから文句は言えない。母に感謝するばかりである。しかし、その反動だろうか。コーラやら、揚げ物やら、焼肉やらが大好きな私である。健康診断の結果がB判定で、またまた衝撃を受けた。肥満、内蔵脂肪、コレステロール、そんな言葉が並んでいる。今日の夕飯は考えものだ。まだ天の国の饗宴に呼ばれるのは、もう少し後にして欲しい。



かつて、おじいちゃんにこの乳母車で通っていた。大空の下、風に吹かれて…